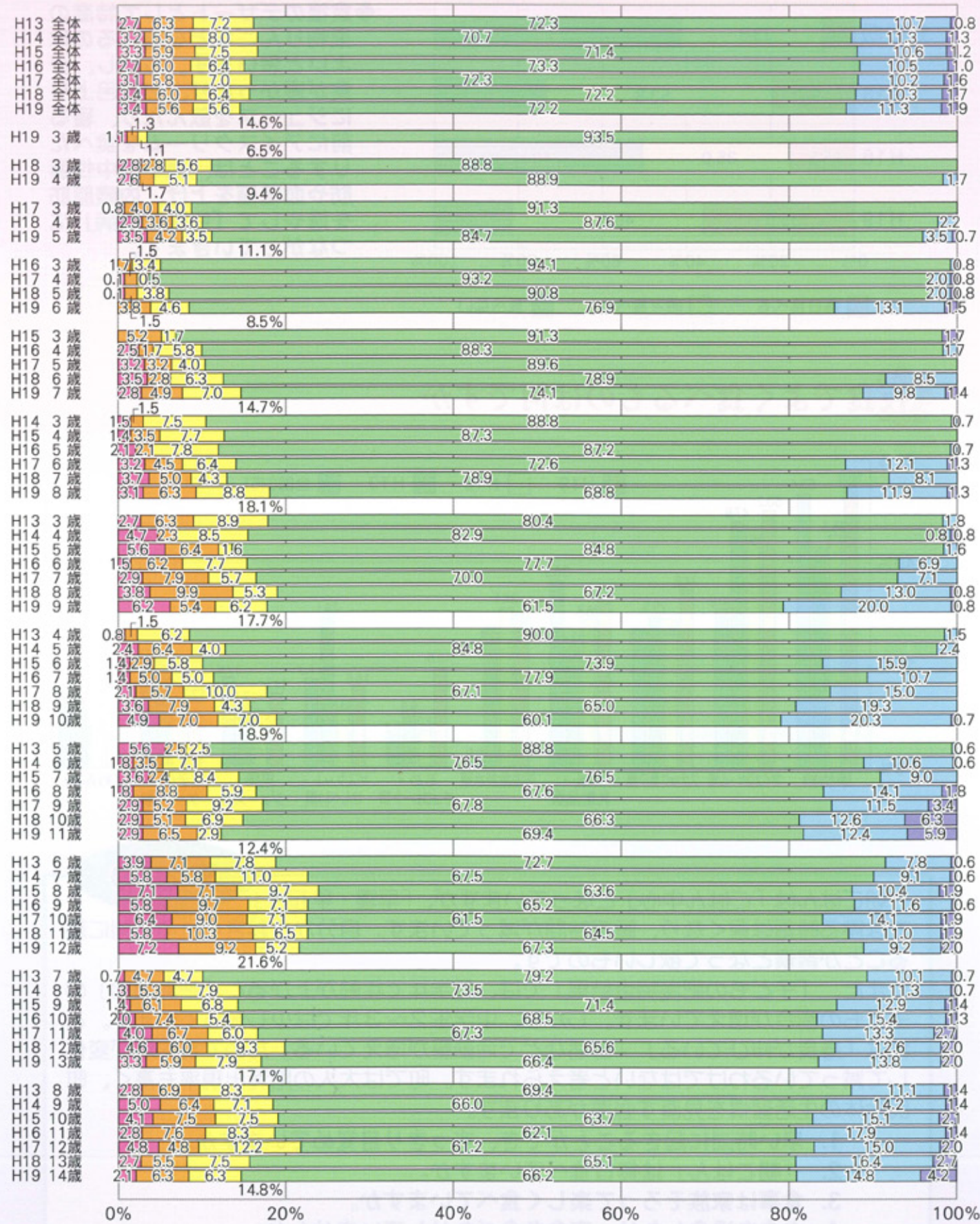


平成19年度「子どもの肥満調査結果」より



鶴田町の子どもたちのすがた

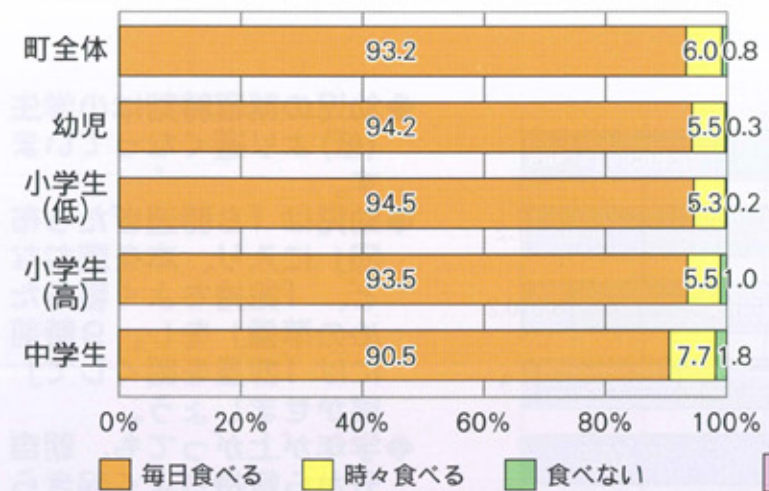
●平成19年度 「食生活等状況調査」より●

この調査は、朝ごはん条例の基本方針「ごはんを中心とした食生活の改善」「早寝・早起き運動の推進」と子どもの生活習慣の現状把握のため、町内の保育所・幼稚園・児童館・小中学校と町が連携して、3歳以上15歳未満の「子どもたち」の状況について保護者の方に記入していただいた結果です。

	対象者数	回答者数	回収率
幼児	345人	325人	94.2%
小学生(低)	437人	422人	96.6%
小学生(高)	445人	421人	94.6%
中学生	448人	396人	88.4%
合計	1,675人	1,564人	93.4%



朝ごはんは毎日食べますか



- ◆幼児は大人が食べる環境を作ってあげないと食べることができません。
- ◆学年が上がったり、休みの日であったりしても、「目が覚める」「1日のエネルギーの補給」「肥満予防」などのために朝ごはんを「毎日食べる」習慣が必要です。

●町全体の動向

	毎日食べる	時々食べる	食べない
H13	88.7%	10.1%	1.2%
H16	91.6%	7.9%	0.5%
H17	93.2%	6.4%	0.4%
H18	92.3%	7.4%	0.3%

☆年齢が上がっても「肥満傾向」の子どもの割合は変わらない。
 ☆「肥満傾向」の多い学年は「やせ傾向」も多い。
 ☆「ふとりすぎ」は医師に相談が必要な子どもである。